

第43回北信越中学校総合競技大会バレーボール競技 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（大会時の遵守事項） 修正版

1 事前の対応

令和4年度北信越中学校体育連盟が定める感染拡大予防ガイドラインをもとに、バレーボール競技における新型コロナウイルス感染拡大の防止対策を設け、選手・スタッフ・観戦者・大会関係者などが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求める。大会責任者及び、参加者（チーム）はそれぞれ感染対策を行い、事前・競技実施日・事後にお互いが連絡を取り合える環境づくりをする。

1. 大会実施に当たっての基本的な考え

(1) 感染源を絶つ

- ① 発熱、咳、倦怠感など症状がある者は、大会参加を自粛する。
- ② 大会前後1週間の健康状態や学校や勤務先等の状況、行動記録など、指導者（チーム代表者）は、選手・スタッフ・観戦者の健康状態や学校や勤務先等の状況も確認できるようにする。

(2) 感染防止の3つの基本

- ① ソーシャルディスタンス(2m(最低でも 1m))の確保、換気の徹底
- ② マスク着用の徹底及び3密(密閉, 密集, 密接)の回避
- ③ 手洗いの徹底, 手指や共通で接触する物(ボール・器具・ドアノブ 等)の消毒徹底

(3) 安全な環境などの確保

2 大会当日の感染症対策

【大会運営者・会場責任者が遵守すべき事項】

- ① 試合会場、控室(控え場所)、観戦場所等において、マスク着用や3密を回避する対策として注意書きを掲示する。また、消毒液や手洗い石鹸を設置する。
- ② チーム(選手)と競技役員または観客との動線を区別したり、ゾーニングしたりして、接触を最小限に抑える。
- ③ 試合間には、換気を行う。
- ④ 試合球を複数個用意し、試合中に消毒及びボール交換を行う。
- ⑤ 審判が笛を使用する場合は、マスク内または飛沫防止カバーをする。
(笛・飛沫防止カバーは、使用前後の洗浄・消毒をする)
- ⑥ 試合間に、ベンチ、線審のフラッグ、得点板、モップ等を消毒する。
- ⑦ 会場責任者は、入館者から回収した「体調記録表」を1か月間保管する。
- ⑧ 選手やスタッフ、観戦者や大会関係者等が大会参加後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、当該校から各県の専門委員長(部長・副部長)に報告する。各県の専門委員長(部長・副部長)は、長野県中体連バレーボール専門委員長(丸ノ内中・牛田)に報告する。

【入場に関する事項】

- ・大会当日は受付を設置し、大会会場への入場者の把握を徹底する。
- ・大会会場への入場できるのは以下の①～⑤に該当する人のみとする。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 選手（登録選手以外の当該校の部員含む）② チーム関係者（有効に登録されたチーム指導者3名まで）③ <u>観戦者（生徒マネージャーを含む登録選手の人数×2 の人数以内）</u>④ 当該校の教職員（校長、教頭など2名以内）⑤ 大会役員（審判、運営、各県協会関係者） |
|--|

- ・①・②は、引率者が『(別紙2)学校同行者体調記録表 修正版』を受付で提出する。
- ・③は、『(別紙3)来場者体調記録表 集約表』を受付で提出する。
- ・④・⑤は、『(別紙3)来場者体調記録表 修正版』を受付で提出する。
- ・入場に関しては、配布されるIDカードを着用する。

【引率者・顧問が遵守すべき事項】

- ・練習中も含め常にマスクを着用する。
- ・手指消毒、会場消毒のための消毒液を持参する。
- ・飲食は、必ずチームの指導者の監督のもと、決められた控え場所(または、体育館の屋外)でとる。食事後は、必ずその付近の消毒をする。
- ・自チームの試合が終わったら、使用した場所を消毒し、速やかに退館する。
- ・選手やスタッフ、観戦者や大会関係者等が大会参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、各県の専門委員長(部長・副部长)に報告する。
- ・その他、別に定める「競技上の確認」を遵守する。

【選手・観戦者が遵守すべき事項】

- ・競技中以外はマスク着用を原則とする。
- ・大会(試合)前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。
- ・ベンチ(ウォームアップエリア)や控室(控え場所)など、間隔を空け密集・接触を避ける。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。特に、入館時のアルコール消毒、試合や食事の前後の手洗い・消毒を必ず行う。(消毒液は、各自準備すること)
- ・マスク、ハンカチ(タオル)、下足袋を持参する。
- ・チームごと、選手と観戦者用に別々の控え場所(荷物や待機するスペース)を指定するので、極力指定した控え場所にいる。(消毒液等を用意し、使用前・後に消毒を行う。)
- ・競技者との接触を避けたため、観戦者は、選手の控え場所には立ち入らないようにする。
- ・自チームの試合の応援は、決められた位置で行う。観戦者は、自チーム以外の応援はできない。
- ・大きな声での応援や会話をしない。また、鳴り物やメガホンを使用した応援は禁止する

- ・飲食は、必ずチームの指導者の監督のもと、決められた控え場所(または、体育館の屋外)でとる。食事後は、必ずその付近の消毒をする。
- ・ゴミは放置せず、ゴミ袋や段ボールなどにまとめ必ず持ち帰る。
- ・マスクの予備や使い捨て手袋、消毒液等は、各チームや個人で用意する。
- ・自チームの試合が終わったら、使用した場所を消毒し、速やかに退館する。
- ・大会参加後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、必ず学校に報告すること。
- ・感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従う。

3 事後の対応

- ・「体調記録表」に関しては、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、提出者の了解を得た上で、大会責任者が1ヶ月保管する。
- ・大会参加後1週間以内に、大会参加者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに当該校から大会運営者(専門委員長・専門部長・副部長)に報告する。大会運営者(専門委員長・専門部長・副部長)は県中体連事務局に報告するとともに、対応について検討する。